

カヌシランマキ・スポーツ・センター (Kannusillanmäki sports centre, Espoo, フィンランド) <http://www.getunderground.fi/web/page.aspx?refid=143>

ヘルシンキ市の中央駅から自動車で30分ほど南西にあるエスポー市の中心に位置しているカヌシランマキのシェルターを訪れた。フィンランドとエスポー市が共同で建設したこの民間防衛シェルターは、平常時には、スポーツだけでなく会議室、工場、多目的ホール、音楽施設および劇場などいろいろなレクリエーション活動に利用できるように建設されており、年間9万人の人が利用しているとのことであった。1983年に開業を始めたこの民間防衛シェルターは、総床面積が8,200m²あり、二階層からなっており、緊急時には、2,750人が避難できるようにS-6クラスの設計がなされている。この施設は、平常時には、機械ジム、球技場ホール、80m短距離トラック、砲丸投げ練習場、音楽室および柔道場など、4,520m²敷地面積を区分けして、多くのスポーツやレクリエーションに、活用されている。特に、広さ16.5×16.5m、高さ8から9mの空間を利用した250席の劇場は、映画劇場として設計されているが、最近では、アマチュア劇団やイベント活動に広く活用されているとのことである。吹付けコンクリートが施工された壁や天井は、白色から乳白色に塗装され全体的に明るい空間であったが、単調で、平面的な照明であり、通路や部屋の天井が低く、狭い。このため、前述のイタケスクス・スイミング・プールとは違って、重圧感や閉鎖感が残り、施設の見学後に外に出たときには、一種の解放感や安堵感に似たものを感じた。



写真-4 シェルターの入口



写真-5 シェルター内の遮蔽扉

(カヌシランマキ・スポーツ・センター)



写真-6 シェルター内の多目的運動場



写真-7 シェルター内の走行レーン

(カヌシツランマキ・スポーツ・センター)